

兼六園 中期経営目標取組状況(令和5年度)

中期経営目標(実施期間 R5～R9)

- ①利用者数については、現状の水準を維持します。
- ②利用者アンケートによる満足度は、95%以上を維持します。
- ③一般財源投入額ゼロの運営を維持します。

1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値	実績値(R5)	中間目標値(R7)	最終目標値(R9)
①利用者数	2,730千人	2,141千人	2,730千人	2,730千人
②利用者アンケートによる満足度	99%	100%	95%以上	95%以上
③利用者1人あたりの一般財源投入額	0円	0円	0円	0円

2 令和5年度における主な取組内容

(1)施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取組

- ①施設の利用促進に向けた取り組み
 - ・引き続き、樹木の活力向上、後継木育成、工作物の計画的改修など様々な保全対策を講じ、文化財庭園の保全・継承に取り組みました。
 - ・ホームページで開花情報を提供するなど庭園の魅力発信に努めました。
- ②サービス(満足度)向上に向けた取り組み
 - ・3料金所を改修するとともに、新たに自動券売機を導入することで、チケット購入時の利便性向上に努めました。
 - ・車いすの貸し出しなど、高齢者や体が不自由な方への配慮に努めるとともに、新たに兼六園バリアフリーMAPを作成し、利用者へのサービス向上に努めました。
 - ・県観光企画課と協力して夜間ライトアップなどを行い、昼間とは異なる庭園の魅力を体験いただきました。

(2)施設運営の効率化に向けた取組

- ・エネルギー節減の意識を高め、光熱水費等管理コストの縮減に努めました。

(3)その他の取組 (1)、(2)以外の取組があれば記載

3 令和6年度における取組内容の見直し等

- ・能登半島地震により被災した箇所については、十分な安全対策を講じるとともに、ホームページやサイン等による注意喚起を行い、引き続き安心して公園を利用していただけよう努めます。
- ・特別名勝の景観の保全のため、植物の健全な育成や施設の維持管理に努めます。